

花巻で描く夢

市内には、花巻から文化を発信するために移住した人たちもいます。花巻を盛り上げたい。花巻に「夢」を描く2組を紹介します。



株式会社VISION OF FASHION
代表取締役 菊地 央樹さん
釜石市出身。23歳で大阪市に洋服店を持ち、事業を展開。2021年に家族とともに花巻へ移住し、2023年に新たに花巻の店舗「kune」をオープン。現在は京都、東京、花巻の洋服店を経営。

地域資源で花巻に合ったファッションを株式会社 VISION OF FASHION

菊地さんが花巻に洋服店を構えるきっかけになったのは、世界中の生地が集まるパリコレクションへの買い付けでした。「お気に入りへの生地のアトリエで、逆に日本の生地の話をされたいんです。当時の日本の生地をあまり知らなくて。でも日本の生地文化が素晴ら

しいとそこで気付きました」と菊地さん。日本の生地に興味を持つと、店舗を持っていた京都や東京より、東北の素朴な布地の文化がしっくりきて、自分のルーツである東北を拠点に服を作りたいと考えたそうです。特にさき織やホームスパン、刺し子などの文化が根付く花巻の山の文化が心に響き、空き家バンクを利用して3年前に花巻に移住。自社ブランドの洋服を販売する「kune(クウネ)」を立ち上げました。

花巻に来た当初は花巻の寒さと雪の多さに驚いたといいます。季節に合わせた生活も豊さをもたらしてくれたそう。「春や秋はお店をメインでやって、冬はこの辺の植物を使った染めや、企画を考えるインプットの時間になっています」。「せっかくならこの地域資源を生かせるような、より生活に根差した取り組みをしたい」と将来を見通します。

「住んでみて思うのは、住民が地域を愛しているということ。地域を維持しようと日常的に助け合う姿からそれを感じます」と話す菊地さん。「声を掛け合うから、意外と不向きは感じていないんですよ」と穏やかにほほ笑みます。

クウネ
kune
鉛字中野31-1(春～秋の土・日曜日、祝日(12月下旬～2月ごろまで休業))



販売している靴下はアルパカの毛100%でとても温かい。「kune」で取り扱うものは、ファッション性だけでなく実用性も兼ね備えている。



阿部 銀河さん
奥州市出身。県内外を問わず数々のワークショップやクラブショーなどに出演。ダンススクールのインストラクターを経て創業。
高橋 穂乃佳さん
花巻市出身。高校卒業後上京し本格的にダンスを始める。ミュージックビデオへの出演やアパレルモデルダンサーなどで活躍中。

花巻から「かっこよさ」を追求し発信する BLEND STORE & This my JAM

BLEND STORE & This my JAM
上町13-34
☎080-5845-2602
〔古着〕12:00-18:00(月曜日定休)
〔ダンススクール〕Instagramに掲載
Instagram
Instagram
ダンススクール

花巻郵便局向かいに本年1月オープンした「BLEND STORE&This my JAM」。ここは古着とダンススタジオを一体楽しむ空間です。「ダンスもファッションもひと続きにつながっていると考えています。だからワンフロアに集約しました」と話すのは、店主の阿部銀河さんです。目指すのは「ひとつのカルチャーとして発信する店」。店内は明るくポップなカラーやキャラクターたちと、レコードやシャンデリアといったクラシカルな装飾が共存し、不思議と調和のとれた落ち着いた空間となっています。古着は、阿部さんが気に入ったものだけを仕入れ、テーマ性を生み出しているそう。

この建物はかつて「みんなのお店」と呼ばれたスーパーで、花巻の大切な場所だったそうです。「年齢に関係なく地域の人がお店をのぞいてくれるんです」と話すのは、ダンススクール講師の高橋穂乃佳さん。「いつかかつてのように、地域の人の憩いの場にもできたら」と展望します。
「私たちは東京へ一度出てダンスを学んだけれど、都会に出なければ文化を発信できないとは思わない。花巻でも夢がかなうことを実現し、伝えたい」と話す2人。「世界レベルを目指し、ここがかっこよさを追求していく」と力を込めます。

